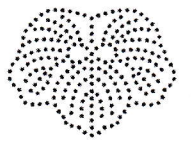


「リウ伝」は高野の分身がお客様のところへ挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リウ伝

50号

2024年1月26日
高野 竜馬

「大吉なのにな...」

元旦から能登半島では地震、羽田では飛行機事故、北九州では火災と思ってもよらぬ幕明けとなった2024年。

比白様は年末年始どのような過ごしをされましたでしょうか？

私は大晦日から久しぶりに認知症の母と正月を過ごしました。日頃はデイサービスで、母とゆくり話すこともないので、大晦日から四六時中、一緒となると結構大変でした。

妹達家族を招いての新年会の時は良かったのですが、その後数分ごとに繰り返される同じ質問に辟易し、正月と気分も吹っ飛びます。認知症の母との生活は、改めて私たちの家族にどう老いていくべきか

を考えさせてくれます。

1月2日には母をデイサービスに預けて、松井神社へ初詣。

おみくじを引くと珍しく「大吉」。正月早々、縁起が良いなと思いつつも、冒頭から意味深な短歌が...

「いとまなき世にたつともたちちねの親につかふる道な心ゆそ」

どんなに多忙で社会活動している人でも親に仕える道、即ち孝行だけは忘れないようにしなさいという明治天皇の歌にひやりとします。

その上、「大吉」の横には「程よさを忘れず、栄耀への我執を捨てよ」と続きます。

「慢心するなよ」という天の声

が聞こえてくるようです。確かに昨年は公私ともに良き

一年でしたから、今年もうひと伸び出来るかどうか真価が問われます。

そんなことを考えながら毎年恒例の100個目標にチャレンジ。達成率は例年3割程度ですが、100個出し尽くすのに苦しみながら「俺、こんなことを考えたんだ」という意外な欲求が垣間見えるのが面白いものです。

ちなみに去年は、「一日一日にピリオドを打つ」を心がけた結果、最高の大晦日を迎え、夕暮れの中、氏神様に感謝を伝えることが出来ました。

今年もそうやってヒネリ出した100個の目標から目取重要目標を「募金する」に決定。もしかしたら元旦の地震が思いのほかに心に染みていたのかもしれない。

最近でこそ、神社等に賽銭を多少は弾むようになった私ですが、元来、募金箱にお金を入れるような人間では

ありませんから。ケチで損得勘定で働く人間だからこそ、我欲を捨てて、募金できる自分を目指すのです。という訳で早速、能登半島やハラリビッグ・アスリートに少しだけ支援させて頂きました。募金のことを「喜捨」と言ったりしますので、「喜んで出す」ことに挑戦します。



たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
☎090-3407-2123
<https://www.takanozaikai.com> x-l fp.takano@gmail.com